



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・  
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1994, 62(5):  
714-715

ISSUE DATE:

1994-08-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/95361>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成6年8月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第62巻 第5号

ISSN 0525-2997

**vol.62      no.5**

# 物性研究

**1994 / 8**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で、**private communication** 扱いにしてください。

### 原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

  - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
  - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
  - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
  - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
  - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
  - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
  - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
  - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（ $\square$ ）、イタリック（ $\textit{\_}$ ）、ゴシック（ $\text{\textbf{\_}}$ ）、ギリシャ文字（ $\alpha$ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
  - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

## 掲 示 板

### 教官の公募について

九州工業大学情報工学部

1. 公募職名・人員 助教授 1 名
2. 所属・講座 機械システム工学科 情報物理講座
3. 専門分野 統計物理学の分野（基礎理論又は実験）
4. 教育担当科目  
① 授業  
（学部生向）現代物理学・統計流体力学・情報基礎実験・機械システム  
（応用）実験  
（院生向）情報物性特論  
② 卒論・修論研究指導  
機械システムの学部生・院生に相応しいテーマで研究指導できること。
5. 着任時期 採用決定後出来る限り早い時期
6. 応募資格  
① 博士の学位を有し、大学院博士後期課程を担当できる方  
② 上記専門分野における最近の業績が顕著である方  
③ 上記3, 4における教育と研究に意欲的な方  
④ 年齢は30才代が望ましい
7. 提出書類  
① 履歴書（写真添付, 学歴, 研究歴, 教育歴を含む） ② 研究業績目録（レ  
フリーつきの著書, 論文, レター, 国際会議・報告, 等毎に分類のこと）  
③ 主要論文（5編程度）の別刷り各部1部とその要約（約400字程度）  
④ 研究業績の概要 ⑤ 採用後の教育と研究に関する抱負 ⑥ 本人に関する意  
見書2通 ⑦ 健康に関する資料
8. 提出期限 平成6年9月30日（必着）
9. 宛先・連絡先  
820 福岡県飯塚市川津680-4  
九州工業大学情報工学部機械システム工学教室 山崎義武  
Tel 0948-29-7761  
Fax 0948-29-7751
10. その他 封筒に「情報物理応募書類」と朱書し、書留で送付のこと。

参考：本学大学院情報工学研究科は、平成5年4月に博士後期課程の設置が認可されたところであり、このため、着任後は大学院設置審査基準に従って、上記の大学院授業科目「情報物性特論」[動的な協力現象や開放系の非平衡統計物理学]を担当する指導教官としての資格審査を受ける必要があります。

## 編集後記

教養部の改組により私の所属する部局にも自前の学生がやってきて2年目となる。本学部には多くの専攻があるが、幸い物理の人気は結構高いようである。しかし、先日そのような物理志望の学生と懇談する機会を得たが、彼らの多くは宇宙や素粒子（特に宇宙）の分野に興味を示しており、物性をやりたいという人はあまり多くなかった。これはやはり最近の宇宙論ブームやスペースシャトル、彗星の木星衝突などの影響であろうか。相対的に物性の分野の宣伝不足ということにもなるだろう。これからいよいよ専門に入っていく彼らであるが、はたしてどうやって物性に目覚めさせようかと今から思案している。

この春から編集委員の末席に加えていただくこととなった。まだ編集会議に出るだけで何もしていない私であるが、編集長を支えてより良い雑誌を作っていきたいと考えている。

(S. T.)

---

物 性 研 究 第62巻第5号（平成6年8月号） 1994年8月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200 円		

---

## 編集後記

教養部の改組により私の所属する部局にも自前の学生がやってきて2年目となる。本学部には多くの専攻があるが、幸い物理の人気は結構高いようである。しかし、先日そのような物理志望の学生と懇談する機会を得たが、彼らの多くは宇宙や素粒子（特に宇宙）の分野に興味を示しており、物性をやりたいという人はあまり多くなかった。これはやはり最近の宇宙論ブームやスペースシャトル、彗星の木星衝突などの影響であろうか。相対的に物性の分野の宣伝不足ということにもなるだろう。これからいよいよ専門に入っていく彼らであるが、はたしてどうやって物性に目覚めさせようかと今から思案している。

この春から編集委員の末席に加えていただくこととなった。まだ編集会議に出るだけで何もしていない私であるが、編集長を支えてより良い雑誌を作っていきたいと考えている。

(S. T.)

---

物 性 研 究 第62巻第5号（平成6年8月号） 1994年8月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200 円		

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。**

### 物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内  
電話 (075) 722-3540, 753-7051  
FAX (075) 722-6339

物 性 研 究 62-5 (8月号) 目 次

○交換規則による富の分布の変化……………	齋藤 修…………	591
○研究会報告		
「音響系・光学系におけるカオス」……………		598
○コメント		
「物性研究」をどのような雑誌にするのか？ 一人のアウトサイダーの意見……………	長谷田 泰一郎…………	711
○掲示板……………		714
○編集後記……………		715



物 性 研 究 62-5 (8月号) 目 次

○交換規則による富の分布の変化……………	齋藤 修…………	591
○研究会報告		
「音響系・光学系におけるカオス」……………		598
○コメント		
「物性研究」をどのような雑誌にするのか？		
一人のアウツサイダーの意見……………	長谷田 泰一郎…………	711
○掲示板……………		714
○編集後記……………		715